

目標及び計画期間

様式(1) -

都道府県名	静岡県	市町村名	下田市	地区名	稲生沢・蓮台寺温泉お散歩地区	面積	40 ha
計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度				

目標

大目標：地域住民が誇る蓮台寺の温泉や文化・歴史、稲生沢地域の花々を活かした回遊したくなるまちづくり
小目標1：地域と共につくる、住み続けたいまち、訪れたいまちの形成
小目標2：伊豆急行蓮台寺駅に停車しなくなった特急「踊り子号」を呼び戻す

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、伊豆急行線蓮台寺駅に接して位置し、南北に二級河川稲生沢川、東西に二級河川蓮台寺川が位置する。500m離れたところでは伊豆縦貫自動車道(仮)蓮台寺インターチェンジが着々と整備されている。地区内には蓮台寺源泉があり、最盛期は15軒もの旅館があったが周辺の商店と共に件数は減少し、現在は6軒となり衰退の一途をたどっている。

蓮台寺駅では、2007年(平成19年)4月1日よりスーパービュー踊り子号は当駅通過となり、さらに2009年(平成21年)には踊り子号も含めてすべての特急が通過するようになった。

これまで、観光整備事業で湯の華小径を整備し、吉田松陰が黒船に密航を企てた際に寄寓した民家(吉田松陰寓寄処)や国指定有形重要文化財の大日如来坐像等の歴史資源を巡る回遊ルートを整備してきた。

地域住民における活動も盛んであり、リバーフレンドシップや蓮台寺花の会、蓮台寺まちづくり協議会など継続して行われている地域の活動により、地域住民が主体となって足湯の整備等も行われてきた。

様々な取組が行われてきたが、寓寄処の来訪者数は年々減少しているなど、人通りもまばらであり、更なる付加価値の高い事業の展開が必要な状況にある。

また、市内全域を対象としたアンケートで、「これからも現在の場所に住み続けたいですか」という問いに対し、住み続けたいと回答した人が最も少ない地域が稲生沢であった。まちづくり活動についても、「すでに参加している」、「関心があり、機会があれば活動に参加したい」という人が少ない結果だった。地域の住民が、地域に愛着を持ち、地域の人が誇れる場所とすることも重要である。

課題

1. 温泉足湯や、温泉手洗い場などの温泉施設が数ヶ所に設けられているが、地区内には美しい庭園を有する高級温泉旅館が点在しているので、活用しながらこれらの優位性を強調したまちづくりが必要である。
2. 吉田松陰寓寄処などの複数の拠点を巡りたくなるよう、既存拠点の魅力の向上や回遊ルートの上質性を高めるための整備が必要である。
3. 湯の華小径では歩きだせる空間がでているが、旅館や駅から通じる道路空間からも温泉情緒を感じる高級感あふれる空間形成を行い、回遊ルートへ呼び込むことが必要である。

将来ビジョン(中長期)

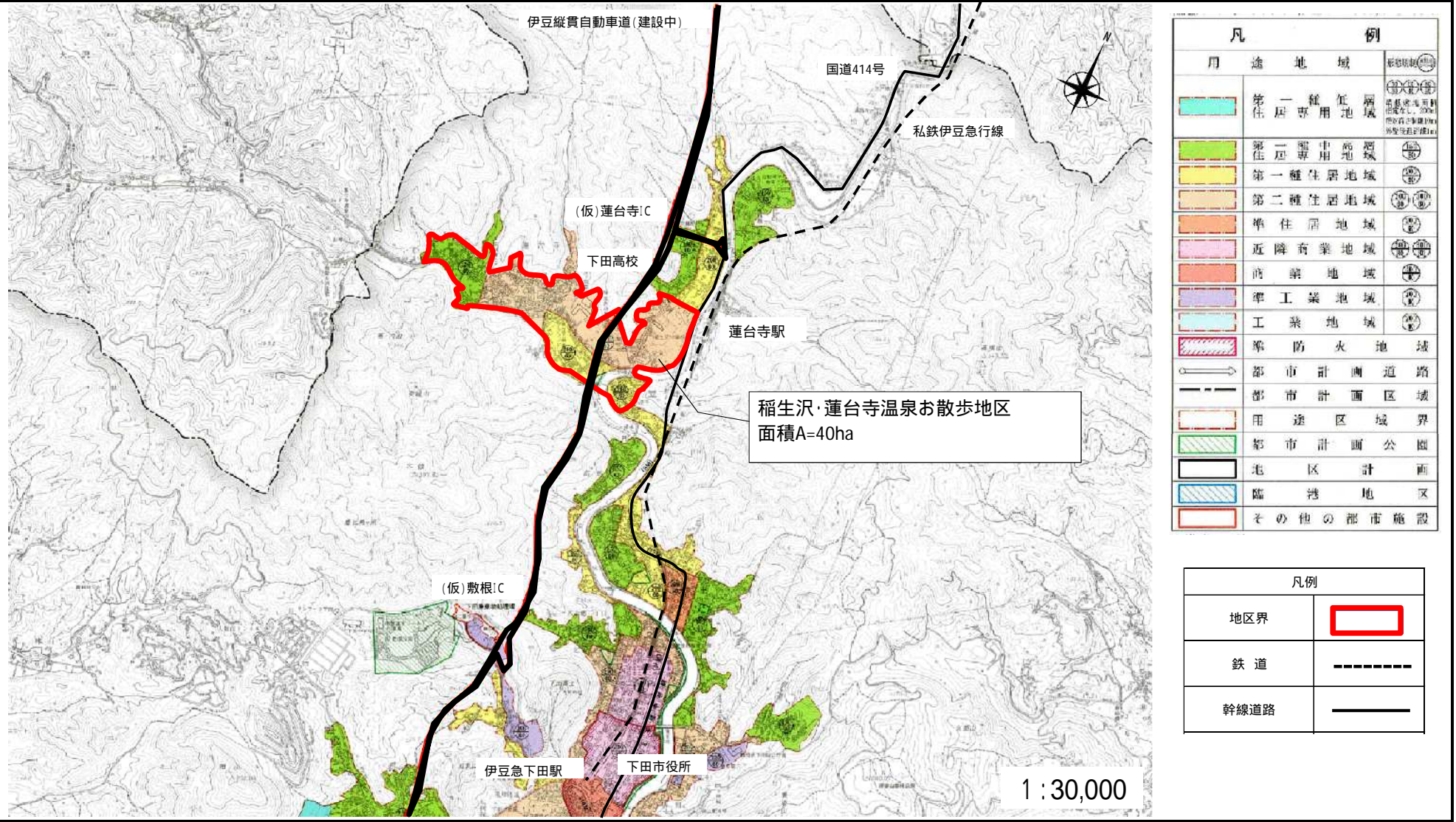
〔第4次下田市総合計画(平成23～32年)〕将来都市像：自然と歴史を活かし、やすらぎと活力のある美しいまち。
〔整備、開発及び保全の方針〕地域ごとの市街地像：蓮台寺地区については、宿泊施設と住宅地が共存する地区として、生活基盤の整備とともに、地域資源を活かした個性的な都市空間を形成する。
〔下田市都市計画マスタープラン(平成27～42年、平成28年3月完成)〕都市づくりのテーマ：下田の歴史、自然、文化に親しみ、住んでいくな、また来くなる都市をつくる。
〔蓮台寺街づくり協議会(地元組織)〕街づくりの基本的な考え：豊かな温泉資源と特異な歴史的文化財を有する蓮台寺が、地域住民やここを訪れる人によって深い愛着や魅力が感じられるような潤いのある街づくり。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
散策数	人/年	吉田松陰寓寄処の年間来訪者数の増加	拠点への誘導、回遊性の向上により、地域を訪れる人の増加を目標として、施設の来訪者数を指標とする。	2,839	H25	3,000	R2
	人/年	主要旅館2軒における宿泊者数の現状維持	湯めぐり手形などの取組により温泉地としての知名度が上がることを目標として、地区の旅館の宿泊者数を指標にする。	18,670	H26	18,670	R2
まちづくり活動参加意欲	%	まちづくり活動に参加したい人の増加 （「関心があり、機会があれば活動に参加したい」割合）	地域の人々が、地域のまちづくり活動に関心を持つことを目標として、まちづくり活動への参加意向を指標とする。	32.7 （稲生沢地区住民割合）	H25	38.9 （全市民における割合）	R2

計画区域の整備方針	
・各温泉旅館の駐車場をスタート拠点として、湯めぐり手形を持つことにより歩き始めるきっかけと温泉をPRするきっかけをつくり、来訪者を受け入れるための施設整備を行う。	方針に合致する主要な事業 ・基幹事業 ・地域生活基盤施設(情報板):案内板等整備事業 ・提案事業 ・事業活用調査:地域資源活用調査(温泉旅館等との連携等) ・地域創造支援事業:温泉旅館活用事業
・吉田松陰寓寄処や天神神社、足湯などの既存の拠点までの道のりを魅力あふれるものとするため、天神神社前の広場の整備、湯の華小径への更なる立ち寄りポイントの設置と湯の華小径のリニューアルを行う。また、現在個人所有の、枝垂れ桃が咲く拠点を公共のものとして再整備し、新たな拠点から既存拠点へ引き込む。	・基幹事業 ・公園:(仮)天神公園 ・公園:(仮)道草公園 ・公園:(仮)枝垂れ桃の里公園 ・高質空間形成施設(緑化施設等):湯の華小径 ・提案事業 ・地域創造支援事業:神社仏閣等活用事業
・湯の華小径、温泉旅館が立ち並ぶ道路空間や沿道、周辺の公共空間で、温泉情緒感じる空間づくりをして、回遊したくなる気持ちを高める。その際には周辺の教育施設の関係者や住宅地の居住者が日頃生活するうえでも誇りある空間となるよう、空間づくりについては地域住民と相談をしながら行う。	・基幹事業 ・道路:(市)立野お吉ヶ淵線、(市)日陰2号線 ・高質空間形成施設(緑化施設等):湯めぐり広場 ・提案事業 ・まちづくり活動推進事業(ワークショップの開催、まちづくりPR) ・地域創造支援事業:四季の花植栽事業 ・事業活用調査:事業効果分析調査
その他	
【まちづくりの住民参加】 ・平成26年度に蓮台寺地区では「まちづくり協議会」が発足されている。同年に行った下田市都市計画マスタープラン策定に基づく「稲生沢地域まちづくり会議」では、周辺地区の住民が蓮台寺地区周辺の整備を望んでいた。 ・平成27年度には、下田市都市計画マスタープランプロジェクト推進業務にて、地域と連携しながらまちづくりを推進していく。整備内容については地域と連携をとりながら進めていきたい。	

稲生沢・蓮台寺温泉お散歩地区(静岡県下田市)	面積	40 ha	区域	蓮台寺の全部と立野、河内の一部
------------------------	----	-------	----	-----------------



稲生沢・蓮台寺温泉お散歩地区（静岡県下田市） 整備方針概要図

